

電熱ウェアの異常発熱に注意しましょう!



- モバイルバッテリーなどを用い、衣服に内蔵された電熱線を発熱させて温める電熱ウェアに関する相談が増えています。
- 電熱ウェアを使用していたら首元が焦げて穴が開いたという事例もあります。

相談事例

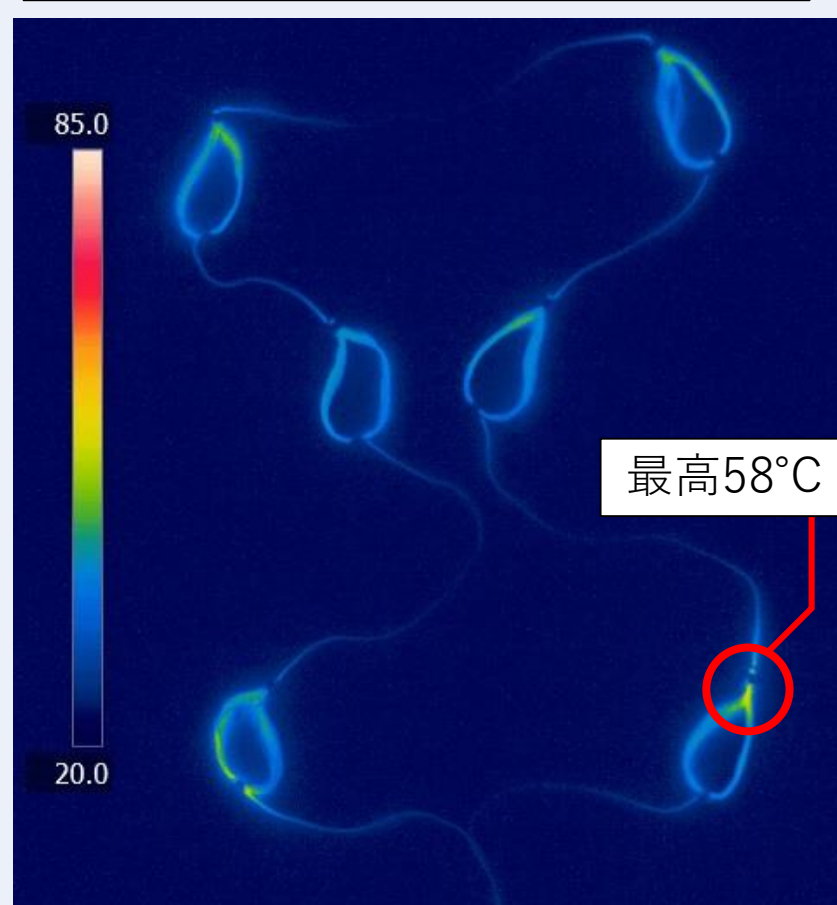
- 電熱ベストを使用していたら首元が焦げて穴が開いた。そのせいで他の衣服にも穴が開いた。(50歳代・女性)
- 電熱ベストを着用したところ、やけどをした。背中に10円玉ほどの大きさの水疱が3つできていた。(50歳代・男性)
- 1週間前に通販で買った電熱ベストの電源がすぐに落ちて温かさが続かない。業者に交換を求めたため電話したが繋がらない。(40歳代・女性)

商品テスト

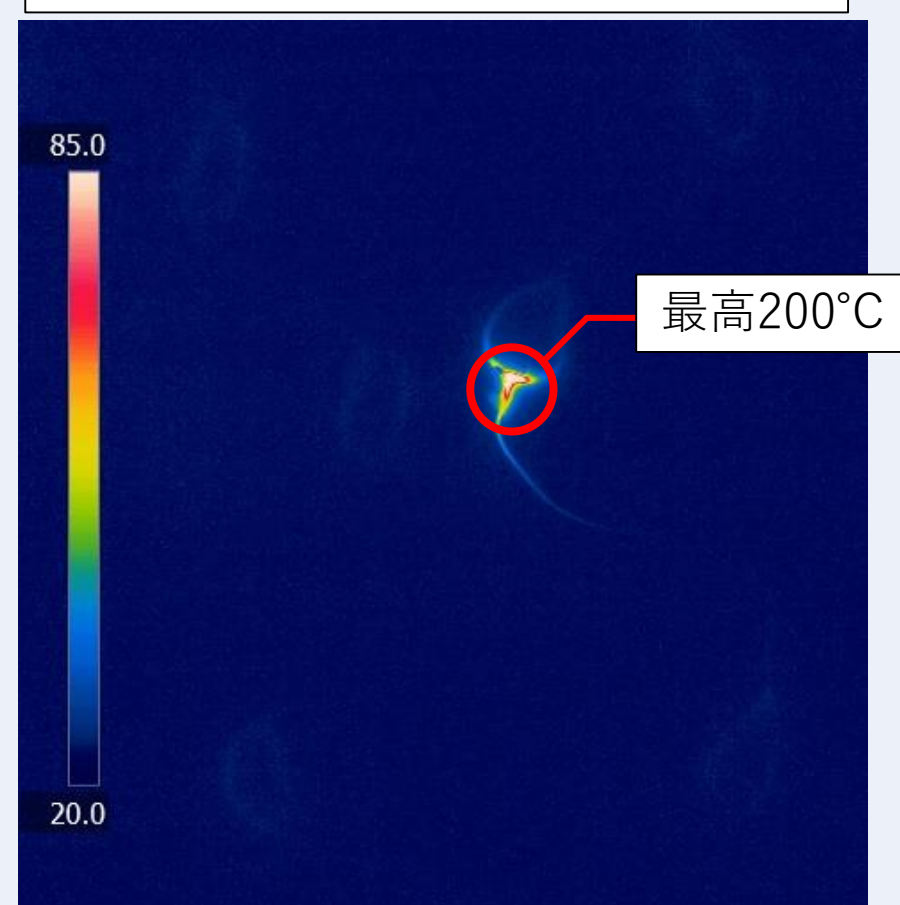
- ① 商品によって使用されている部品の構成や形状に違いはありましたが、発熱の仕組みに目立った差異はみられませんでした。
- ② 断線した電線同士が不安定に接触した状態で通電したところ、接触部分の温度が**200°C**まで上昇することがありました。
- ③ **発熱体周囲の温度が高いと、発熱体の温度も高くなる**傾向がみられました。



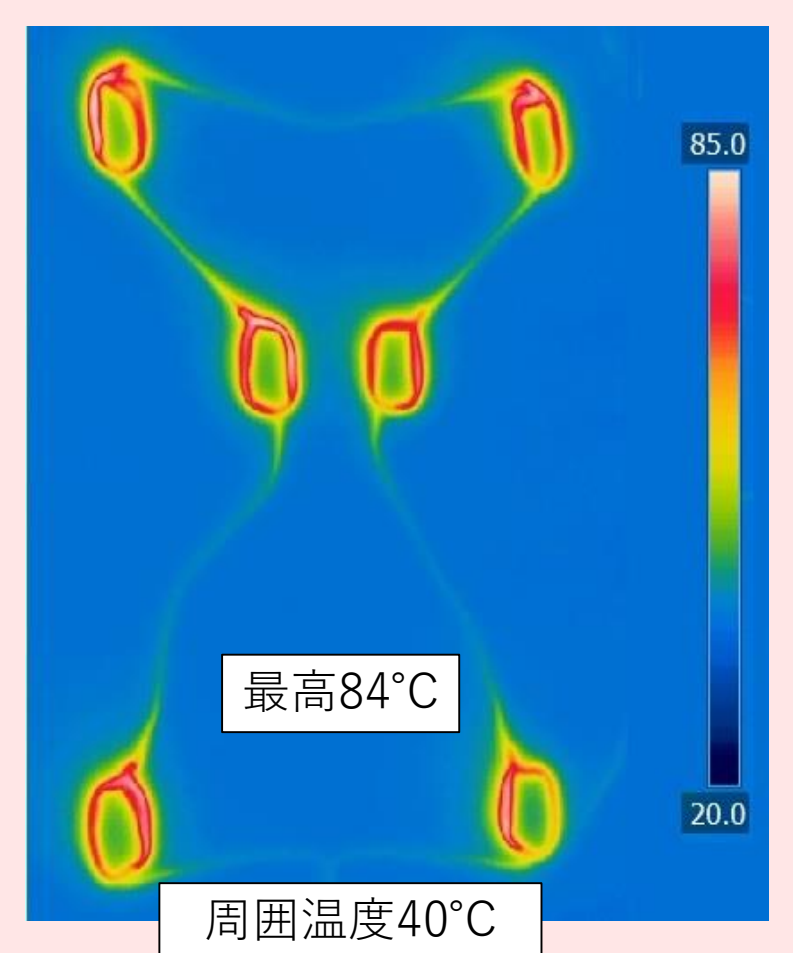
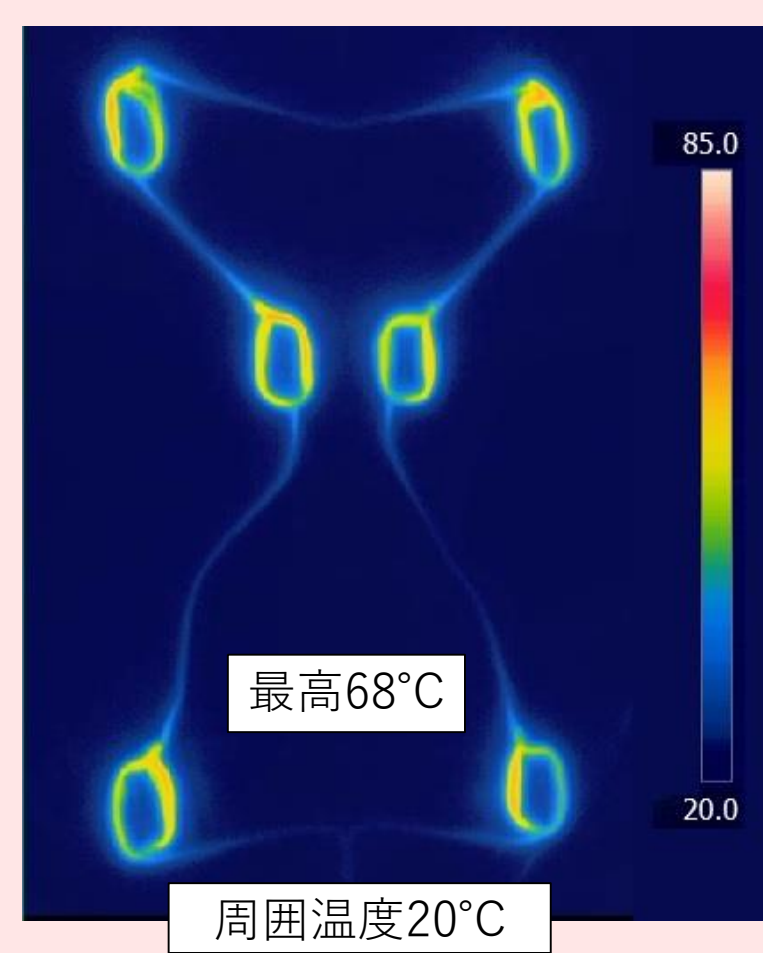
正常な場合
各電熱線が均等に発熱



断線部同士が接触した場合
その箇所が発熱



発熱体周囲の温度が高いと、発熱体の温度も高くなる



⚠️ 消費者へのアドバイス

- ① 電熱ウェアは衣服に暖房機能を持たせた電気製品です。電熱ウェア内部の電線等に負荷をかけないなど、**丁寧に扱い、異常を感じたらすぐに使用を中止**しましょう。
- ② 取扱説明書および本体の注意表示には、電線等に負荷をかけない、高温となる環境で使用しないなどの記載があります。よく読んで、理解してから使用しましょう。
- ③ 製造元や販売元、型式や機能といった**仕様が明示された商品を購入**しましょう。



独立行政法人

国民生活センター